

# 地域社会との緊密な連携を築こう

## — P T A、地域、学校で子どもの成長を見守る —

愛知県岡崎市立大門小学校 P T A

会 長 田 中 健

### 1 はじめに

#### (1) 地域と学区の概要

岡崎市は愛知県のほぼ中央に位置し、三河高原の丘陵地と三河平野で形成されています。人口38万人、愛知県で3番目に大きな中核市です。市内には J R・名鉄など合わせて17駅があり、東名・新東名高速道路などの幹線道路によって、恵まれた交通網を構築しています。また、岡崎は徳川家康の生誕地であり、岡崎城があることや、八丁味噌の産地としても知られています。自動車関連工場が集まる工業都市でもあります。

大門学区は、岡崎市の北部に位置しています。徳川家康にゆかりのある大樹寺を隣接している学区です。静かな住宅地域で、多くの公園があります。

#### (2) 本校の概要

本校は、昭和50年（1975年）に開校しました。来年度で50年目を迎えます。開校当時は、児童数261人の学校でしたが、大門学区に新しく住む人が増え、現在は岡崎市内で3番目の大規模校となっています。今年度の全校児童数は810名、学級数は特別支援学級6学級を含んで32学級です。



【大門小学校 全景】

校内には「大門っ子の森」「ビオだい

もん」などの緑があふれる場所があり、子どもたちは、その自然の中で楽しく毎日を過ごしています。ビオだいもんは、創立30周年のときに、学区の総代会、社会教育委員会が中心となって作っていただいたビオトープです。そこには、いろいろな生物がおり、子どもたちの憩いの場となっています。また、学区の方との交流の場として、今年度も、ビオだいもんコンサートをを行い、学区の方を招いて、3年生が音楽の授業で学んだ歌や合奏の発表会を行いました。

#### (3) P T A組織について

本校の P T A は、役員10名（会長1名・副会長3名・書記2名・会計2名・会計監査2名）になります。

さらに、学区内の各地区から地区委員を選出しています。今年度は、合計43名の方に参加していただいています。各地区の正副委員長、専門委員会の正副委員長で常任委員会をつくっています。専門委員会は、広報委員会、保健体育委員会、生活指導委員会とあり、直接、教育活動を支える活動を行っています。生活指導委員会は主に登下校の交通当番の分担、実施等を行っています。保健体育委員会は、学校保健委員会、マラソン大会等の行事の支援活動を行っています。広報委員会は年3回の P T A 新聞の編集作成を行っています。

以前は、各学級から代表で学級委員を選出していましたが、現在はPTA学校支援員を全ての家庭を対象に募集しています。この活動は、授業や行事での支援活動（準備、手伝い、片付け等）、見学などの引率の見守りなど、教育活動を支えていただく活動です。2年間に1回の参加を呼びかけています。任意の活動ですが、毎年たくさんの保護者が積極的に参加していただいています。

## 2 活動紹介

大門学区では、総代会、社会教育委員会が中心となって「明るい町づくり活動」「地域防犯活動」「地域交通安全活動」を推進しています。その活動と合わせ、小学校、PTAと協力して行うものもあります。

### (1) 1年生 交通安全教室

1年生が入学して間もない時期に、学区の交通指導員さんのご指導で、1年生を対象に交通安全教室を行います。小学校の近くの歩道や横断歩道、交差点を使って行われます。1年生の保護者にPTA学校支援員として募集して、その活動の手伝いをしてもらっています。今年度は、交通指導員が8名、PTA学校支援員が14名の参加がありました。



【1年生 交通安全教室】

### (2) 資源回収

学区資源再利用実行委員会が中心となって、月に1度、資源回収を行っています。これは、小学校PTA、中学校PTA、子ども会、保育園PTA、幼稚園母の会が担当し、割り当てられた月に行っています。小学校PTAは年4回を担当しています。毎回8時30分から、

各地区の指定場所で、各地区の総代さんをはじめとした学区の方と協力して、アルミ缶、段ボール、繊維類、牛乳パック、雑誌、新聞紙の回収を行っています。



【資源回収】

### (3) 登下校見守り活動

現在、登下校ボランティアに参加していただいている学区の方は13名います。毎朝と下校時に、横断歩道や道路での見守り、付き添いを行っていただいています。また、交通指導員さんも登校の見守りをしてれています。PTAでも各地区の生活指導委員が旗当番表を作成し、PTA会員全員で子どもたちの登校の安全を見守っています。3学期には感謝する会を学校行事として行います。交通指導員さん、登下校ボランティアさんを学校に招き、子どもたちからお礼を伝える会になります。そこでも、PTAを代表し、生活指導委員の委員長からお礼を伝えています。



【交通指導員、登下校ボランティア 感謝の会】

### (4) 「明るい町づくり」学区民大会

学区では「明るい町づくり」を推進する活動を行っています。その中で学区民大会を9月に行い、「明るい町づくり」の推進事業計画の周知を目的としています。また、小学生や中学生から「明るい

町づくり」をテーマとした書写、標語、ポスターを募集し、その中から優秀作品を表彰しています。作品は、学区の市民センターに1年間展示されます。この会は警察署にも協力していただき、会の最後には、小学生向けに防犯についての講話をしていただきます。この会に、PTAも参加し、学区の明るい町づくりに協力しています。



【明るい町づくり学区民大会】

#### (5) 学区公園清掃活動

毎年11月末に、学区内にあるたくさんの公園の清掃活動を、小学校の美化委員会が企画しています。自分が住んでいる近くの公園をきれいにしようというこの活動に、PTA会員にも参加を呼びかけています。また、学区の総代会、寿クラブの方も進んで協力していただいております。力を合わせて、公園をきれいにすることができています。



【学区公園清掃活動】

#### (6) 交通安全しめ縄広報活動

学区主催の活動で、毎年12月に、公道で自動車を運転しているドライバーに交通安全の願いを込めた贈り物を、子どもたちから手渡す活動を行っています。この贈り物は、大門学区がしめ縄の生産地として有名なので、そのしめ縄と交通

安全を呼びかけるメッセージになります。それを、毎年、4年生の子どもたちが行っています。

この活動は、警察署の協力のもと行われます。学区の南側にある片側3車線の幹線道路を規制し、通行する車を一時停止して、そこで子どもたちが「安全運転をお願いします」と言いながら贈り物を渡します。約120人の子どもたちが、道路で活動するため、安全面を考え、たくさんの大人の方の支援で活動しています。総代さんをはじめとした学区の方、岡崎市役所の方、そしてPTAとしても保健体育委員、PTA学校支援員も、子どもが安全に活動できるように、子どもたちの活動を支援しています。



【しめ縄広報活動】

【贈り物】

#### (7) 学区防犯パトロール、安全見守り隊

学区の方は、地域防犯、安全な町づくりのため、学区内を青色パトロールカーで警戒すべき場所を中心に回っていただき、犯罪や事故がないよう、子どもたちを見守っていただいています。それに合わせ、PTAでも「安全見守り隊」のネームホルダーを全家庭に配付し、多くの目で防犯活動ができるようにしています。犬の散歩や子どもと一緒に公園に行くとき、買い物に行くときなどに、そのホルダーを着用してもらい、PTA会員のみんなで学区内の子どもたちの安全を見守る活動です。以前、PTAでは長期休業中に学区の見回り活動を行っていましたが、回数が少なく、限られた人たちだけの活動でした。そのため、この活動を見直し、PTA会員みんなの力で、学

区と協力して、子どもの安全を守っていききたいと思い、進めています。



【安全見守り隊のホルダー】

### (8) 読み聞かせ活動

月に2回程度、子どもたちに向け、絵本の読み聞かせ活動を、PTAサークル「読み聞かせPiPi」が行っています。このサークルには、保護者だけでなく、学区の方も参加していただいています。以前のコロナ禍では、教室内で対面にて行うことを避けて、テレビ放送で全校一斉に行っていました。しかし、今では、各教室で子どもと向き合いながら、対面で実施することができています。子どもたちも絵本の世界に引き込まれ、食い入るように話を聞いています。子どもたちは、朝の会前の少しの時間ですが、とても楽しみにしています。



【読み聞かせ活動】

### (9) PTA文化展、学用品リサイクルバザー

3学期の授業参観のときに、PTA文化展を体育館で行っています。ここでは、PTAサークルの「ペン習字サークル」「アベリア趣味の会」が作品を出展しています。また、子どもたちの作品、絵画部、手芸クラブ、大門小学校の職員の作品も展示しています。このような機会なので、学区の方にも学区の回覧板を

使って、参加を呼びかけました。多くの人数ではありませんが、絵画や手作りの作品など、出展していただき、内容の深い文化展になりました。

また、同時に学用品リサイクルバザーを行い、これも回覧で学区の方に呼びかけたところ、使っていない小学校の学用品をたくさんいただくことができました。すぐに汚れてしまい、替えが必要な体操服などは、人気商品となっていました。



【PTA文化展】

## 3 成果と課題

### (1) 成果

私たちの大門小学校は、開校当時から地域の方に守られている学校であります。皆さん、地元の学校を大切にしてくれ、子どもたちの成長を見守ってくれています。市役所、警察署等の協力もあり、とても心強いです。また、近年、PTAも学校支援として、授業や行事などに参加する機会が増えました。PTAと地域がより協力して、子どもたちを見守ることを継続していきたいと改めて感じました。

### (2) 課題

PTAが、地域の方と直接話し合っており、活動を考えていく機会がなかなかできない状況です。現状は、学校がその間に入ってくれています。しかし、一人一人の子どもが成長できるような学校をつくるためには、PTA、地域、学校の3者が相談し、何が自分たちにできるか考えなくてはなりません。そのためには、いつでも気軽に相談できる体制づくりが必要です。そのような機会をつくっていきけるようにしていきたいと思えます。